

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 449

事務事業名	さくらの里づくり事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	河川公園課		
課長名	浦山 弘幸	内線	426
担当者名	一瀬 崇	内線	436

基本目標	機能的で環境と調和したまち
政策	050303 快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策	公園・河川の整備
関連施策	

会計	一般会計		
款	8	土木費	
項	5	都市計画費	
目	1	都市計画総務費	
事業コード	020700	さくらの里づくり事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	大村市内の桜		
意図 対象をどのような状態にしたいか	大村市内各所、とりわけ桜の名所である大村公園の桜を整備・充実することにより、花に親しみ、ゆとりと潤いのあるまちづくりを進め、新たな観光資源の創出を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市政75、80周年事業の一環としてオオムラザクラ接苗の育成を行い、記念植樹を計画する。また「さくらの街おむら」を推進するため、道路、河川護岸等公共施設への桜の植栽を進める。 市内植栽総数(H27度末実績) 13,300本、市内植栽計画総数 14,000本(H34末)		
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 34 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 単年度植栽計画	計画値	10	10	10	10	(実績/計画)×100
		実績値	5	20	26		
	達成度	%	50.0%	200.0%	260.0%	0.0%	
	② 圃場の育成苗数	計画値	200	200	200	200	
実績値		242	261	242			
達成度	%	121.0%	130.5%	121.0%	0.0%		
成果指標	① さくらの植栽本数(市内植栽計画)	計画値	14,000	14,000	14,000	14,000	(累計実績/14,000)×100
		実績値	13,254	13,274	13,300		
		達成度	%	94.7%	94.8%	95.0%	
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	786	994	1,034	1,860	1,861	1,860	1,860	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	786	994	1,034	1,860	1,861	1,860	1,860	
② 人件費(千円)	1,659	1,601	1,742	1,773	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.20	0.20	0.23	0.23	さくらの里事業委託料・工事費1式	さくらの里事業委託料・工事費1式	さくらの里事業委託料・工事費1式	
時間外勤務(時間)	35	45	60	50				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	2,445	2,595	2,776	3,633				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度は、大村公園、森園公園等に26本の桜の植栽を行った。平成27年度単年度での植栽計画は達成でき、市内植栽総本数としては概ね計画どおり進捗している。 平成28年度も引き続き、桜の植栽を進めるとともに、接ぎ木を行い苗木の育成を進める予定。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	「さくらの街おおむら」を市内外へアピールするため、大村公園をはじめ市内各所へ桜の植栽の推進が必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	「さくらの街おおむら」を推進するためには、市の積極的な関与が必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	桜の植栽を推進することにより、花や緑のあふれる街づくりを目指し、「さくらの街おおむら」を市内外へ広くアピールすることが出来る。また観光資源の充実により、集客数の増加が期待出来る。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内各所の桜の整備や市政周年事業の一環として計画する記念植栽により、市内の桜の充実を図り「さくらの街おおむら」を推進できる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	必要最小限の経費にて実施している。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	平成27年度は、26本の桜の植栽を行い、植栽実施累計が13,300本となった。計画期間内の植栽計画本数14,000本へ概ね順調に植栽本数が進捗しているため、当事業は現状維持とする。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。